

CONTENTS

巻頭エッセイ「市民活動をサポート！」 P1

多文化共生の推進を願う
株式会社ナカザワ
代表取締役社長 中澤 実任盛さん

おうみ未来塾リレーエッセイ P2

理念ある利益・利益ある理念を追い求めて
おうみ未来塾 第14期生
「ウッド・ビー・ビー(WOOD-BB)」 池田金夫さん

特集●未来に向かってつなげる、つづける。 P2~5

寄付でNPO法人を応援しよう!
~認定NPO法人制度を知っていますか?~
【活動団体紹介】
●認定NPO法人 まちづくりネット東近江
●認定NPO法人 びわこ豊穡の郷

市民と企業のChangeにチャレンジ! P6~7

- 異才ネットワーク
- ふるさと玉川「民具を照らす会」
- Link+しが
- 滋賀レイクスターズ

Changeにチャレンジ!応援BOX P8

滋賀でサステナブル社会をめざす市民情報交流誌
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi



あづみ ネット

淡海
2019
109

Summer

発行日/2019年7月1日
発行所/公益財団法人 淡海文化振興財団

巻頭エッセイ●市民活動をサポート!

多文化共生の推進を願う

株式会社ナカザワは2014年会社設立60周年を機にナカザワNEOフレンドシップ基金を立ち上げました。

わが社は60周年の前年から中国・ベトナム・カンボジアの3カ国に時計の小売店として進出しました。私たち家族や従業員は現地では生活習慣の違いや環境の変化でなかなか生活になじむのが大変でした。特に病気となればやはり言葉の壁が一番大変で、本当に心細い思いをしました。でも周りの現地の方々には言葉の壁を乗り越えて親切にいただきました。

そんな感謝の思いをお返しできないかと思っているときに、淡海ネットワークセンターにお声がけをいただきました。私たちの海外進出も大変ですが、逆に日本に來られる外国人の方も私たち同様ご苦労されていると思います。その方々に少しでも早く日本になじんでいただくためにこの基金を立ち上げました。実際、私も今では湖南省国際協会の理事を務め、この基金が外国人の方に役立っていると実感しています。これからもますます外国人労働者の方が日本に來られますのでこの基金を継続していきたいと思っています。

株式会社ナカザワ 代表取締役社長
中澤 実任盛さん



▲ナカザワNEOフレンドシップ基金
助成団体の活動の様子



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

おうみ未来塾 リレーエッセイ

理念ある利益・利益ある 理念を追い求めて

おうみ未来塾14期「森・活き・生き・本き高時」では、地域で放置状態にある森林と製材所、大工小屋を資源として、組み立て式の小屋(WOOD・BB)を製作、災害時の復興支援住宅として提案することを試み実現しました(2018年105号掲載)。テーマとしては「理念ある利益・利益ある理念」で、地域の活性化には利益を産む仕組みが必要と、塾の学びから取り組んできました。その思いは今も変わらず持ち続けて活動しています。試作した小屋は一年半経った今、風雨や地震にも耐え無事活躍しています。

しかし、それを事業化ということになると一朝一夕にはいきません。地域の人に理解してもらえず、賛同してくれる人もなく孤立状態というのが現状です。それどころか無理がある訳で、そこを見直し現状を把握して、出来る事からやりかけています。具体的には少し小さなもので、子どもが3、4人で組み立てて中に入ることができる遊具です。協力して作る面白さや達成感、そして子どもに森を感じてもらおう木育が主な目的で、幼稚園児の教材として考えていて、今年度の市の提案事業として取り組んでいます。一つのことを追い求めて行動すると、いろんな壁にぶち当たります。おうみ未来塾の時もそうでしたが、その都度仲間同士意見をぶつけ合い前に進んでいきました。今もその壁は次に進むための過程と思い、試行錯誤やっています。

PS.森林整備は順調です。

おうみ未来塾
第14期生
「ウッド・ビー・ビー(WOOD-BB)」

池田 金夫



寄付でNPO法人を応援しよう！ 認定NPO法人制度を知っていますか？

寄付は、誰もが気軽に参加できる重要な社会貢献の一つです。社会で貢献しているNPO法人や市民活動団体の多くが寄付で支えられています。とはいえ、「寄付はしたいけれど、どこにしたらいいかわからない」という方も多いのではないでしょうか？信頼性が高く、寄付が有効に活用される団体に寄付したいと思っただけでも、どういう基準で探せばいいか、なかなか難しいのが実情ではないかと思えます。

今回はそんな時の一つの参考としていただきたく、認定NPO法人制度についてご紹介します。

■寄付と 認定NPO法人制度

滋賀県では2019年3月末現在、591ものNPO法人があり、まちづくり、環境保全、子育て支援、福祉、文化振興といった様々な分野で地域に貢献する活動をしています。多くの団体が活動のための資金不足に悩まされている状況にあります。

そういったNPOの活動を支援するためにつくられた制度が「認定NPO法人制度」です。これは、皆様からの寄付でNPO法人の活動がいつそう支えられることを目的としてつくられたもので、高い公益認定の基準

を満たした「認定NPO法人」については、寄付する側、される側ともに税制優遇を受けることができます。

■認定NPO法人って何？ NPO法人とどう違うの？

そもそもNPOとは何でしょうか？NPOは「Non-Profit Organization」の略で、「非営利組織」という意味です。非営利組織とは、会社などの営利組織とは異なり、利益があっても構成員に分配せず、活動目的に沿った事業に充てる組織のことです。「NPO法人（＝特定非営利活動法人）」とは、非営利組織で、かつ特定の20種類の分野（環境保全、子育て支

援、福祉、文化振興等）の活動をしているNPOに対し、法人格を認められたものです。

そして、「認定NPO法人」とは、NPO法人の中でもさらに一定の基準（※1）を満たし、「特に公益性が高く、適正な組織運営や事業活動がなされていること」を所轄庁（都道府県、政令市）から認められたNPOのことです。全国には5万1610のNPO法人がありますが、そのうち認定取得しているのは1106団体で、認定取得率はほんの2・1%（2019年3月末時点）。認定NPO法人は、厳しい基準を満たしたNPOであり、一定水準の信頼性が確保されているといえます。

■認定NPO法人の「税制優遇」とは？

認定NPO法人には、寄付する側とされる側それぞれに対し、次のような税制優遇があります。

個人の寄付者

確定申告すれば、寄付額に応じて所得税と個人住民税が最大約50%控除



▲認定NPO法人びわこ豊稔の郷 通常総会の様子

【任意団体から認定NPO法人になるまで】



【※1／認定NPO法人になるための基準】

①パブリック・サポート・テスト(PST)をクリアしていること

公益性

※以下の基準のいずれかを選択することができます。

- ・相対値基準…経常収入金額に占める寄付金等収入金額の占める割合が20%以上
- ・絶対値基準…寄付金の総額が3,000円以上である寄付者が、年平均100人以上
- ・条例個別指定…都道府県・市区町村から条例で個別指定を受けていること

②共益的な活動の占める割合が、50%未満であること

公益性

③運営組織及び経理が適切であること

適正な組織運営

④事業活動について一定の基準を満たしていること

適正な組織運営

⑤情報公開を適切に行っていること

情報開示

⑥事業報告書等を所轄庁に提出していること

情報開示

⑦法令違反、不正の行為、公益に反する事実がないこと

適正な組織運営

⑧設立の日から1年を超える期間が経過していること

適正な組織運営

⑨欠格事由に該当しないこと

適正な組織運営

(参考／内閣府NPOホームページ「認定制度について」より)

【※2／個人の寄付金控除 計算式】

①所得税

税額控除方式の場合

$$(\text{年間寄付金合計額}(\text{※3}) - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{減税額(所得税分)}(\text{※4})$$

所得控除方式の場合

$$(\text{年間寄付金合計額}(\text{※3}) - 2,000\text{円}) \times \text{所得税率} \\ = \text{減税額(所得税分)}$$

※3／ただし、総所得金額の40%が限度です。

※4／ただし、所得税額の25%が限度です。

②個人住民税

$$(\text{年間寄付金合計額}(\text{※5}) - 2,000\text{円}) \times \text{最大}10\%(\text{※6}) \\ = \text{減税額(個人住民税分)}$$

※5／ただし、総所得金額の30%が限度です。

※6／都道府県指定分4%+市町村民税指定分6%。ただし、自治体により要件等が異なります。

されます。(※2)

法人の寄付者

一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額で損金算入できます。

相続財産を寄付した方

非課税財産となり、寄付した財産には課税されません。

認定NPO法人への優遇

収益事業から得た利益を、収益事業以外の特定非営利活動事業に充てた場合に、その分を「みなし寄付金」として、一定額(「所得の50%」または「年200万円」のいずれか多い額)を損益算入できます。

滋賀県の認定NPO法人

滋賀県では、591のNPO法人のうち、26の団体が認定を取得しており(2019年3月末時点)、認定取得率は4.3%と、全国平均の約2倍となっています。一方で、認定制度に対する社会的な認知度はまだまだ低く、せっかく認定を取得してもなかなか寄付金の増加にはつながりにくい現状もあるようです。

認定NPO法人制度は、社会から必要とされている活動を市民一人ひとりの寄付で支える仕組みであると同時に、「自分で自分の税金の使い道を決められる」制度でもあります。滋賀県のNPO活動をより元気にするために、ぜひ制度を活用してみてください！

[滋賀県の認定NPO法人一覧]

法人名	主たる事務所の所在地	代表者氏名
特定非営利活動法人淡海かいつぶりセンター	滋賀県大津市大萱一丁目13番4号深田ビル1階	馬場 忠雄
特定非営利活動法人くさつ未来プロジェクト	滋賀県草津市野路一丁目16番13-405号アメニティ南草津V	堀江 尚子
特定非営利活動法人滋賀いのちの電話	滋賀県栗東市安養寺七丁目字野田611番1	千原 美重子
特定非営利活動法人まちづくりネット東近江	滋賀県東近江市八日市緑町4番1号	野村 正次
特定非営利活動法人ヴォーリス遺産を守る市民の会	滋賀県近江八幡市慈恩寺町元11番地	辻 友子
特定非営利活動法人Ribbon Ring	滋賀県高島市マキノ町西浜704番地1	大貫 雅晴
特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット	滋賀県湖南市石部東二丁目1番36号	山田 一之
特定非営利活動法人大津祭曳山連盟	滋賀県大津市中央一丁目2番27号	元田 栄三
特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部	滋賀県大津市大萱六丁目1番地	黒田 士郎
特定非営利活動法人夢・同人	滋賀県彦根市馬場一丁目4-29湖風庵	國松 善次
特定非営利活動法人つどい	滋賀県長浜市常喜町874番地2	川村 美津子
特定非営利活動法人大津夜まわりの会	滋賀県大津市膳所一丁目10番4号ひまわりサロン	永芳 明
特定非営利活動法人やまんばの会	滋賀県米原市高溝229番地21	伊藤 忠夫
特定非営利活動法人四つ葉のクローバー	滋賀県守山市守山二丁目15番25号	杉山 真智子
特定非営利活動法人鳩の街	滋賀県湖南市石部中央六丁目1番31号株式会社平和堂石部店内	溝口 弘
特定非営利活動法人甲賀文化輝き	滋賀県甲賀市甲南町耕心二丁目1035番地236	松島 ツユ子
NPO法人eネットびわ湖高島	滋賀県高島市勝野3003番地	仁賀 定夫
特定非営利活動法人ひこね育ちのネットワークラポール	滋賀県彦根市中藪町727番地22	廣田 幸子
特定非営利活動法人マイママ・セラピー	滋賀県大津市中央一丁目8番6号	押栗 泰代
特定非営利活動法人滋賀医療人育成協力機構	滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学内	永田 啓
特定非営利活動法人びわこ豊穰の郷	滋賀県守山市勝部五丁目10番25号	金崎 いよ子
特定非営利活動法人あさがお	滋賀県大津市浜大津三丁目2番4号	竹下 育男
特定非営利活動法人サタデーピア	滋賀県彦根市西今町1327番地	上ノ山 眞佐子
特定非営利活動法人びわ湖トラスト	滋賀県大津市浜大津五丁目1番1号	山田 能裕
NPO法人TSC	滋賀県高島市今津町名小路一丁目6番地5	北川 伊久男
特定非営利活動法人しがNPOセンター	滋賀県近江八幡市桜宮町207番地の3	阿部 圭宏

(内閣府NPOホームページ「所轄庁認定・特例認定NPO法人名簿」より 2019年3月末時点)

活動団体紹介

滋賀県の認定NPO法人「まちづくりネット東近江」「びわこ豊穡の郷」に認定取得のきっかけや苦労等についてお話を伺いました。

認定NPO法人 まちづくりネット東近江

(2018年に認定NPO法人を取得)

Q1. 認定をとろうと思ったきっかけを教えてください。

まちづくりネット東近江は、その前身である東近江NPOセンターを継承し、東近江の市民団体やNPOの活動を支援する中間支援組織として発足しました。そのため、各団体の資金調達をどう支援するかは発足当初からの命題であり、「事業指定寄付制度」(にじまちサポーターズ)もそうした経緯で生まれました。これは、事業指定寄付制度に採択された団体とまちづくりネット東近江が協力し寄付を集めるものなので、寄付金控除で寄付者の負担を少しでも軽減できるように、「認定NPO法人」の取得も当初から計画の中に含まれていました。

Q2. 認定をとるために大変だったことは何ですか？

書類の準備や整備等が大変でした。たとえば、寄付者の記録は残していましたが、寄付者名簿として作ったものではないため、中にはフルネームや住所が不明なものもあり再チェックが必要でした。また、議事録も保管していましたが、誰でも閲覧できるようにするための作業も必要でした。認定取得後も、毎年報告する書類は必要ですので、事務作業の負担増はあります。

Q3. 認定をとってよかったこと、運営面での変化等を教えてください。

認定NPOになると、寄付した方が寄



▲ファシリテーション講座の様子

DATA

設立: 2012年
連絡先: 滋賀県東近江市八日市緑町4-1
Tel: 0748-56-1277

http://e-ohminet.com/
活動内容: 地域・まちづくり、市民活動団体の支援、助成活動等

付金控除を申請できるので、そういう意味では寄付金の集めやすさにつながると感じています。会員募集とともに賛助会員の呼びかけも増えました。

Q4. これから認定取得をめざす方々へのメッセージをお願いします。

認定を取得するには、日頃から事務をしつかりこなすことが大切です。法令の順守はもちろんのこと、組織的な運営ができているか? 定款の内容をきちんと理解しているか? 等の確認も大切です。認定取得のための体制づくりは、組織の強化にもつながると思います。

認定NPO法人 びわこ豊穡の郷

(2014年に認定NPO法人を取得)

Q1. 認定をとろうと思ったきっかけを教えてください。

持続可能なNPOであるには、基盤強化、特に資金面での強化が必要と考えたためです。また、ちょうどNPO法が改正され、認定機関が国から所轄庁(都道府県・政令市)に変わったことも、一つのきっかけとなりました。

Q2. 認定をとるために大変だったことは何ですか？

資金面での強化のために「絶対値基準」での認定取得をめざしましたので、その要件である「30000円×100人以上の寄付」を集めるための体制づくりが大変でした。認定基準では、正会員からの会費は寄付金とみなされません。それゆえ、賛助会員を募ることになったのですが、もともと私たちには賛助会員自体がなかったので、定款から変更する必要がありました。定款変更のためには会員一人ひとりに理解していただく必要があることから、会員対象の説明会を開き、変更のプロセスにも時間をかけました。さらに定款変更後は、理事が中心となり賛助会員を募りましたが、いろいろと苦労がありました。NPOではお金の話はタブーといったような感覚もあり、親しい人でもなかなか声をかけづらいといった面もありました。



▲「水辺の楽校」活動の様子

DATA

設立: 1996年
連絡先: 滋賀県守山市勝部5丁目10-25
Tel: 077-583-8686
Fax: 077-558-5007

http://www.lake-biwa.net
活動内容: 「ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現」
「琵琶湖とシジミに親しむ水辺の再現」を目標にした、ホタルの調査・飼育・研究、環境情報発信、環境学習等

Q3. 認定をとってよかったこと、運営面での変化等を教えてください。

目に見えるはつきりした効果はまだ実感できていませんが、応援して下さっている方々への信頼感や安心感にはつながっているのではないかと考えています。

Q4. これから認定取得をめざす方々へのメッセージをお願いします。

認定を取得するということは、組織としてしっかり運営ができていくことの証しですし、社会的信頼も増すので、可能なNPO法人の仲間が増え、認定制度の社会的認知度も上がっていくでしょうと思います。

で活躍する
の「いま」と「これから」
レポートします!



消えゆく民具の 福祉への活用と伝承

ふるさと玉川「民具を照らす会」では、地元で眠っていた昔ながらの民具(生活道具や農具)を使い、「高齢者の認知症予防支援」や「子どもたちへの伝承」の取り組みをされています。

地元の玉川小学校に住民から寄贈された民具が眠っていることを知り、「地域の歴史を残したい」と活動をはじめたのが2013年。約150点の民具の整理、記録づくりからスタートし、聞き取り調査を経てデータベースを作成。聞き取り調査の内容から、次世代の子どもたちにもわかりやすく昔の暮らしを伝えたいと川柳による



▲出前講座の様子

「民俗かるた」を制作されました。絵札も水彩絵の具で1枚1枚手作りされた、味わい深いかるたです。

近年はそのかるたを使い、心理療法「回想法」を用いて、デイサービス等の福祉施設で認知症予防のための出前講座を開催されています。最初は興味がなさそうに



▲メンバーの皆さま

している方も、昔の記憶が蘇るのか、どんどん表情が変わり、自分からお話をはじめられるのだそうです。

「回想法は頻繁にしてこそ、認知症への効果が生まれるもの。もっと多くの人が回想法を学び、実践してくれたらうれしいです。昔を思い

起こし、話ができる場が増えれば、その人自身も持っている活力や元気を引き出すことができるのでは」とあたたかいメッセージをいただきました。

(淡海ネットワークセンター 佐藤 麻里)

ふるさと玉川「民具を照らす会」

- 代表/山上 和美 ●設立/2013年
- メンバー/10名 ●活動場所/桜ヶ丘自治会館 他
- 連絡先/草津市桜ヶ丘1丁目2-1

TEL:077-576-2760

URL:<https://kayo-ko.wixsite.com/hurusato-tamagawa>



正しい知識と専門的な支援の 啓発を目指して



多様な特性をもつ発達障害児等を抱える家庭が地域社会の中で孤立することのないように、そしてその個性を尊重し合い一人ひとりが力を発揮できる社会づくりを目指して、異才ネットワークを立ち上げられた谷川さんにお話を伺いました。

▲「どうだの会」の様子 自身も当事者の保護者であり、学校との対応に苦慮していたとき、発達障害を抱える人に対し「合理的配慮」というものがあることを初めて知りました。これをもっと早くに知っていたらスムーズに配慮してもらえたはず。すごく大事なことなのに、誰も教えてくれず、多くの人がまだ知らないことに、これでいいのかと疑問を持ち、情報共有したいと強く感じたといいます。

立ち上げ当初から行っている「どうだの会」では、得意なことをみんなに認知してもらうことで、自己肯定感が向上する、そんな波及効果も回りながら、子どもたちが自慢の技や作品を持ち寄っています。今後は、不登校と発達障害には強い関係性があるということや、秀でた能力を持つがゆえに既存の学校教育にはない支援や活動を必要とするギフテッドという子どもたちがいることを伝え、正しい知識と専門的な支援を一人でも多くの人に知ってもらうために啓発活動を行っていききたいとのこと。

現在、保護者当事者の会や、大人の発達障害の会、子どもの日中の居場所づくりなども視野に入れ、できることとできないことの差が大きく発達に凸凹がある発達障害の子どもたちが健全に育っていくよう、多様性を認めあえる社会にしたいと願って活動中です。



▲2019年3月に行ったセミナーの様子

(淡海ネットワークセンター 佐藤 弥絵美)

異才ネットワーク

- 代表/谷川 知 ●設立/2018年
- メンバー/4名
- 連絡先/TEL:050-5240-3841

E-mail:isai_nw@outlook.jp

URL: <https://isai-nw.jimdofree.com/>



企業 社会貢献する
スポーツ振興



「あつてよかった」と言われる
地域密着クラブをめざして



▲4月7日福岡戦

「湖国の星」滋賀レイクスターズは、B.LEAGUE 1部に所属し、滋賀に本拠地をおくプロバスケットボールチーム。地域から応援されるだけでなく、「レイクスターズが滋賀にあつてよかった」と思ってもらえるチームでありたい。そんな思いをこめて、様々な社会貢献活動をされています。

昨年11月には「ユニバーサルマナーデー」を開催。障害のある方々が安心して試合観戦を楽しめるようにと事前にスタッフがユニバーサルマナー検定を取得し、当日に臨まれました。また、昨年12月には乳がん啓発のための「LAKESウーマンデー・ピンクリボンゲーム」、今年1月には糖尿病啓発のための「ブルーサークルゲーム」も開催されています。

さらに公益財団法人滋賀レイクスターズでは、昨年から県の「スポーツボランティア支援事業」を受託し、2024年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を視野に、スポーツボランティアの募集・育成に力をいれています。「この事業が、滋賀県でスポーツ文化をつくる一つの起爆剤になればうれしいです」と担当の澤井さん。2024



▲選手が一般参加者とともに清掃活動を行うクリーンウォーク

年までには、8千人近くのボランティアが必要とのこと。貴方もぜひ一緒にボランティアスタッフとして活躍しませんか?ご関心ある方は、ぜひご登録を! (淡海ネットワークセンター 佐藤 麻里)

株式会社 **滋賀レイクスターズ**

- 代表/坂井 信介、西村 大介 ●設立/2007年
- 連絡先/滋賀県大津市におの浜4-7-5
オブテックスにおの浜ビル3F
URL:<https://www.lakestars.net/>

チェ
市民と企業の Cha
チャレ

滋賀県内
NPOや社会貢献企業の
チャレンジを



市民
環境保全

整理収納で環境に優しい
暮らしを伝えたい♪

「滋賀県低炭素地域づくり活動」認定団体でもあるLink+しがのメンバーは、全員が整理収納アドバイザーの有資格者。そんなプロフェッショナル集団が、「人にも、地球環境にも優しい暮らし方を伝えたい」という思いで、様々なイベントを開催されています。



▲おしゃれ服の交換会xChange

代表的な活動の一つ「xChange(エクステンジ)」は、不要になったけれど、まだ使えるおしゃれ服の交換会。2012年からこれまでに計32回開催され、参加者はのべ1700人以上にもなるそうです。単に服を交換するだけでなく、「エピソードタグ」をつけて前の持ち主と次の持ち主とがメッセージをやりとりし、想いも一緒に交換できるのが特徴です。



▲小学5年生「整理整頓」出前授業

また、小学5年生の家庭科「整理整頓」の出前授業や、PTA・一般向け講座、教員研修もされています。

「将来的には、環境先進県である滋賀県が、『整理収納先進県』として他県のモデルとなればうれしいです。イベントやセミナーを通じて、ごみ減量や消費行動の啓発につながれば、地域循環型社会が滋賀県で実現できるのでは」と事務局の星田さんが話してくださいました。

(淡海ネットワークセンター 佐藤 麻里)

Link+しが

- 代表/香田 雅子 ●設立/2011年
- メンバー/17名
- 活動場所/滋賀県全域
- 連絡先/ URL:<https://linkshiga.jimdo.com/>

チェンジ Changeにチャレンジ! 応援BOX

市民活動を応援する淡海ネットワークセンターの
事業をご紹介します。



お知らせ

「ワクワクする地域コミュニティの 運営を考える」フォーラムのご案内

～資金・人はどうしたら集まるの?～(仮)

- ◇日時:2019年9月6日(金) 10:00～12:30
- ◇会場:滋賀県立男女共同参画センター
- ◇基調講演:北川 陽子さん(ファブリカ村 村長)
- パネリスト:堀江 尚子さん(認定NPO法人 くさつ未来プロジェクト 代表理事)
- 江藤 沙織さん
(認定NPO法人 くさつ未来プロジェクト 理事 南草津マンション防災委員会 代表)
- 前川 真司さん(株式会社みんなの奥永源寺 代表取締役)
- ◇参加対象:興味のある方ならどなたでも



募集

●公益財団法人淡海文化振興財団 賛助会員募集

淡海ネットワークセンターでは、当センターの目的に賛同し、事業運営にご協力いただける「賛助会員」を募集しています。年会費は個人1口3,000円、法人1口10,000円です。ご協力をよろしくお願いします。

※寄付に対する税制優遇措置
当財団への寄付は、税制優遇(寄付金控除/損益算入)の対象となります。



講座

●課題解決型協働推進セミナーのご案内

「多様な主体を巻き込む沖縄式地域円卓
会議の仕組みを活かした事例活動に学ぶ」

- ◇日時:2019年10月30日(水) 13:30～16:45
- ◇会場:滋賀県合同庁舎7D会議室(予定)
- ◇講師:山元圭太氏(合同会社喜代七代表)
- ◇料金:無料 ◇参加対象:NPO団体・中間支援組織・行政職員など



募集

●「おうみ良うなる!元気商品プロジェクト」 協力企業等募集中!

このプロジェクトは、企業等の商品やサービスの
売上げの一部を未来ファンドおうみへ寄付して
いただき、おうみ(滋賀)の地域社会をもっと良くして
いこうとするものです。

現在、寄付つき商品(おうみ良うなる!元気商
品)の普及にご協力いただける企業・団体等を募
集しています。詳しくは当財団ホームページをご覧
ください。

※本プロジェクト参加団体(敬称略)

- ◇近江通商株式会社(高島市)
商品名「近江里山の薪、近江里山の炭」
- ◇株式会社口ハス長浜(長浜市) 商品名「山かぶドレッシング」
- ◇一般社団法人比良里山クラブ(大津市)
商品名「赤シソジュースHira Perilla」
2019年6月20日現在



編集後記

■今回の取材を通して、発達障害には様々なスピード、関わり方があるの
だと気づきました。支援する側も正しい知識を持つことで、よりよい社会に
なると嬉しいです。(淡海ネットワークセンター 佐藤 弥絵美)

■今号より「おうみネット」を担当させていただく佐藤です。今回はじめて取
材をさせていただき、地域活動をされている皆さまのあたたかい想いや
様々な苦労をお聞きすることができました。その想いをひとりでも多くの方
にお伝えできれば幸いです。(淡海ネットワークセンター 佐藤 麻里)

4月より淡海ネットワークセンターのHPが新しくなりました!!
セミナーや助成金、イベント情報等も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
<http://ohmi-net.com/>

おうみネット



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■情報交流誌「おうみネット」は登録いただいている県内外の団体・個人のほか、次のところに配布しています。

関西みらい銀行、京都信用金庫、県内公民館、県内公立施設、県内市民活動支援センター、県内社会福祉協議会、県内市役所・役場、
県内図書館、県内中学校・高校・大学、滋賀銀行、滋賀県信用組合、滋賀県庁、生活協同組合コープが、他

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
TEL:077-524-8440 FAX:077-524-8442
<http://www.ohmi-net.com>
E-mail:office@ohmi-net.com
開館日:○市民活動ふらっとルーム/火～土曜日(火～金曜日の祝日は休館)
○事務所/火～日曜日

淡海ネットワークセンターの
HPは右記QRコードでご覧に
なれます。セミナーやイベント
情報も掲載しておりますので、
ぜひご活用ください。



GAME CONDUCTOR SHIGA 滋賀県委託事業 | スポーツボランティア支援事業



詳しくはこちらから



ご登録特典
スマホリング
進呈



2024年滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けてボランティアスタッフ大募集!
びわ湖毎日マラソン、滋賀レイクスターズホームゲームなど、楽しい社会貢献を通じて人間関係も広がります。
ボランティア研修も多数実施予定、まずは登録して自分のペースで無理なく活動しませんか?



公益財団法人

滋賀レイクスターズ

滋賀県大津市におの浜4-7-5 ゲームコンダクター事務局
FAX: 077-527-1029 MAIL: info@gameconductor.shiga.jp WEB: gameconductor.shiga.jp

TEL.077-527-6419



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。